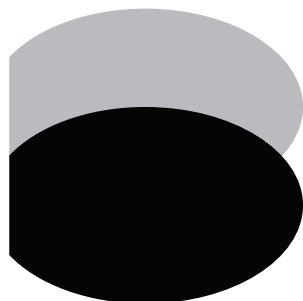


# 20221130

## 絵本学会 NEWS No.74

発行：絵本学会  
発行日：2022年11月30日  
編集：絵本学会広報委員会  
絵本学会事務局：〒100-0003  
東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル(株)  
毎日学術フォーラム内  
電話：03-6267-4550  
Mail：maf-ehongakkai@mynavi.jp  
HP：http://www.ehongakkai.com



絵本学会

- ・第26回絵本学会大会のお知らせ
- ・2022年度研究助成審査結果報告
- ・絵本フォーラム2021開催報告
- ・「絵本フォーラム2022」開催のお知らせ
- ・新入会員自己紹介
- ・機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・絵本学会理事会議事録
- ・事務局からのお願い

### ■第26回 絵本学会大会のお知らせ■

第26回絵本学会大会は、2023年6月17日(土)・18日(日)に大阪大谷大学(大阪府富田林市)で開催します。プログラム等については、次号NEWSでお知らせします。

研究発表〔17日(土)及び18日(日)〕、作品発表〔18日(日)〕を希望される会員は、以下を参照してお申し込みください。

#### ◆第26回 絵本学会大会 研究発表募集要項

##### 1. 発表者の資格(応募資格)

絵本学会の会員で、2022年度までの会費を納入済みであること。

新規入会者の場合は、2023年1月31日(火)の時点で入会手続きが完了していること。

##### 2. 発表テーマ

絵本及び絵本に関連する研究テーマで未発表のもの。

##### 3. 発表時間

口頭発表20分間、質疑応答10分間

##### 4. 申し込み期間

2023年2月1日(水)～2月23日(木)〔期間内に必着〕  
「研究発表・作品発表共通【申し込み方法】」にてお申し込みください。

##### 5. 発表者の決定

発表申込者多数の場合、発表要旨に基づいて審査する場合があります。なお、発表日はご発表者が確定してから、分野ごとにこちらで割り振りをさせていただきます。やむを得ずいずれの日しかご都合のつかない場合は、申し込み時に明記ください。発表日時は、3月22日(水)までにお知らせします。

#### ◆第26回 絵本学会大会 作品発表募集要項

##### 1. 発表者の資格(応募資格)

絵本学会の会員で、2022年度までの会費を納入済みであること。

新規入会者の場合は、2023年1月31日(火)の時点で入会手続きが完了していること。

##### 2. 発表作品

未発表の絵本(個人制作、共同制作とも可)

##### 3. 発表形態および発表時間

判型・サイズ・ページ数などは自由。原画を原寸でカラーコピーしたシートの全画面と、カラーコピーなどで製本したものを1冊出品すること。

大会会場に作品を展示し、会期中の所定の時間(大会2日目6月18日)に制作趣旨を口頭で発表する。

口頭発表10分間、質疑応答5分間

##### 4. 申し込み期間

2023年2月1日(水)～2月23日(木)〔期間内に必着〕  
「研究発表・作品発表共通【申し込み方法】」にてお申し込みください。

##### 5. 発表者の決定

発表申込者多数の場合、作品紹介要旨に基づいて審査する場合があります。作品搬入の期日・方法や発表順については、3月22日(水)までにお知らせします。

#### ◆研究発表・作品発表共通【申し込み方法】

Google フォームに、以下の項目を入力してお申し込みください。

- ①メールアドレス
- ②お名前
- ③ご住所
- ④電話番号

## 2022 年度研究助成審査結果報告

- ⑤ご所属及びご職業など
  - ⑥発表の種別（研究発表・作品発表）
  - ⑦研究発表の方は発表時に使用する機材、作品発表の方は原画サイズ・枚数
  - ⑧研究発表の方は発表タイトル、作品発表の方は作品タイトル
  - ⑨研究発表の方は発表要旨（800 字程度）、作品発表の方は作品紹介（200 字程度）
  - ⑩その他
- ※②⑤⑧⑨は、大会プログラムに掲載します。  
※ Google フォームへはこちらからアクセスしてください。



<https://onl.bz/GgNkp6H>

### ◆その他

- ・受理した原稿等のデータは大会終了後責任をもって消去します。返却は致しませんので、必ず控えをとってください。
- ・当日の記録写真が、絵本学会 NEWS およびホームページを通じて公開されることがありますのでご了承ください。
- ・問い合わせ先：絵本学会本部 office@ehongakkai.com



(イラストレーション：太田僚子)

協議の結果、下記の 3 件を採択しました。

- ・研究テーマ：フランスにおける絵本研究の歴史の変遷と動向の調査検討  
申請種類：個人研究・調査  
申請者：伊藤敬佑（白百合女子大学非常勤講師）
- ・研究テーマ：前衛芸術家が手掛けた絵本の仕事—1990 年代～2020 年  
申請種類：個人研究・調査  
申請者：児玉茜（国立国際美術館研究補佐員／金城学院大学非常勤講師）
- ・研究テーマ：絵本に描かれた「いじめ」の登場人物とストーリーの国際比較研究 —いじめでの役割分化といじめの解決パターンのちがいを—  
申請種類：プロジェクト研究・調査  
申請者：仁平義明（星槎大学大学院教育学研究科教授）  
共同研究者：伊豆田麻子（星槎大学客員研究員）

## 企画委員会

### 絵本フォーラム 2021 開催報告

絵本フォーラム2021「コロナと絵本」

ゲスト：いりやまさとしさん 絵本作家

山縣彩さん フリーランス編集者

日時：2022年2月2日(水)～2月16日(水)

企画委員会では毎年絵本フォーラムとして、作家や編集者などの絵本の作り手と、読者をつなぐイベントの企画運営を行なっています。2021年度からは新たな委員(山本美希、神谷友、かわこうせい)で運営を担当しました。コロナ禍のため、このフォーラムはオンライン動画を配信する形での実施となりました。

2021年度のテーマは「コロナと絵本」とし、コロナのなかで絵本の現場ではどのような本を作り、どのように届けたのかを振り返りました。2020～2021年のコロナ禍では、一斉休校や外出自粛、図書館の休館など、子どもたちと本を取り巻く環境が大きく変化しました。絵本作家や図書館、書店、出版関係者など絵本に関わる人々の努力にフォーカスし、この状況に対処するための知恵を持ち寄る機会を作りたい、というのがこの企画の願いでした。この難しい依頼を快諾し、講師をつとめてくださったのは、絵本作家のいりやまさとしさん、フリーランス編集者の山縣彩さんです。視聴者は98名と、多くの方にご参加いただきました。

絵本作家のいりやまさとしさんには、マスクをテーマにした幼児向け絵本『マスクをとったら』(講談社、2021)を中心に、かわ委員と対談形式でトークをしていただきました。普段は社会問題などをテーマに絵本を作ることあまりないとのことでしたが、2011年の震災や今回のパンデミックでご自身のお子さんが休校を経験したことなどから、この絵本を着想されたそうです。鉛筆で描かれたダミー本のボツになった動物の案も見せてくださるなど、完成までの過程を貴重な資料とともにお話しくださしました。制作には主にパンパステル(お皿形のパステル)を使い、コットンパフで紙へポンポンとのせてゆくとのこと、その作業工程も紹介してくださいました。いりやまさんの絵本は、温かみのある柔らかいタッチが特徴ですが、それがこのように生み出されていることを知る機会となりました。

続いて山縣さんには、編集者の視点から、出版社や書店におけるコロナ禍の取り組みについてご紹介いただきました。とくに、コロナ禍において山縣さんがはじめられた、全国の絵本や児童書を中心に扱う書店を支援する活動について、詳しく伺うことができました。書店は外出自粛の影響や営業時間短縮などで来店者数が減り、大きな影響を受けていたことから、何か支援できないかと思い立ったそうです。絵本や児童書を扱う

独立系書店のリストをまとめてWebページで公開することで、全国の絵本専門書店を一覧できるようにしました。オンラインショップのある書店や、メール等での通販ができる書店であれば、遠隔地からでも購入して支援できます。できるだけ書店に一軒ずつ連絡をとり、その書店の現状を聞き取り、それぞれの書店の方針や考えを尊重してリストに掲載するかどうか相談したとのことでした。

最後に、トークセッションとしてお二人にそれぞれの立場から経験したコロナ禍について、絵本に関わる上で大切にされている考えについてお話ししていただきました。

配信後にアンケートを回収したところ、数多くの方から熱心な質問と感想をいただくことができました。以下に感想を一部ご紹介いたします。

- ◆コロナ禍にあつて絵本作家や編集者がどのような思いで活動されておられたのか知ることができ、大変有意義なフォーラムでした。絵本の役割について改めて考えさせられました。
- ◆コロナ禍での絵本をとりまく状況が複眼的に理解できた。いりやまさとしさん、山縣彩さんのコロナという災厄への真摯な取り組み方にとても共感した。とてもよい企画だったと思う。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。今後の絵本フォーラムについてご要望等ありましたら、下記までお知らせください。

絵本学会企画委員会 ehongakkai.kikaku@gmail.com

(文責：山本美希)



絵本フォーラム 2021 チラシ

## 「絵本フォーラム 2022」開催のお知らせ

今年度のテーマは「しかけ絵本のいま」です。平面だと考えられている本を立体の視点から捉えることで、「生きている絵本\*」が持つしかけの新たな魅力や可能性を考える機会にします。しかけ絵本に詳しいおふたりをお招きし、静岡文化芸術大学の学生たちに向けて実物を紹介しながらご講演いただく様子を、オンラインで配信します。

\*しかけ絵本の父メッケンドルファーによる著作名

### 絵本フォーラム2022「しかけ絵本のいま」

ゲスト：さくらいひろしさん／ペーパーエンジニア

村上妃佐子さん／編集者（アノニマ・スタジオ）

開催方法：＜オンライン＞講演の収録動画を期間限定で配信

参加費：1,000円

定員：150名

配信日時：2023年2月7日(火)9:00～2023年2月23日(木)20:00

申込方法：下記のQRコード、もしくはURLから、Peatixにてお申し込みください。ご登録いただいたメールアドレスへ、動画視聴用URL等のご案内を送付します。



<https://ehonforum2022.peatix.com>

申込期間：2022年12月1日(木)9:00～2023年2月23日(木)18:00

※コンビニ / ATMでのお支払いは、期限の1日前に締め切られます

問い合わせ先：絵本学会企画委員会

[ehongakkai.kikaku@gmail.com](mailto:ehongakkai.kikaku@gmail.com)

詳細は、チラシおよび学会ホームページをご覧ください。



(イラストレーション：山田白百合)

## 新入会員自己紹介

### ●有田洋子(島根大学 准教授)

このたび絵本学会に入会いたしました有田洋子と申します。美術教育学を専門としています。絵本を美術教育の視点から研究しています。多様な可能性をもつ絵本について本学会で勉強させていただきたく思いますこと心より楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

### ●石森恵美(フリーアナウンサー 上智大学グリーンケア研究所 認定 臨床傾聴士)

平均年齢 75 歳の皆さんに、絵本を声に出して読む教室の講師をしています。

それぞれに昔々のご自分の幼かった頃、子育てをしていた頃を思い出しながら絵本を読み、そして病床の配偶者へお読みになったり、お孫さんにアドバイスをもらい選書なさったりと、いろいろな形で絵本に接しています。そのお手伝いができることが楽しく、幸せに感じています。

また、グリーン(悲嘆)ケアのきっかけとして、絵本の中に描かれている様々なグリーンを考え、「悲しみを語りほぐす」時間に絵本を紹介しています。

絵本の中にある力強さや優しさを感じています。どうぞよろしくお願ひいたします。

### ●齊田ルカ(特定非営利活動法人あおときいろ 理事長、歯科医師、絵本専門士第9期生)

はじめまして。私は“歯科恐怖症”という、歯科が極度に怖い患者様を専門に診る歯科医師です。歯科治療は口の中という、患者様自身からは見えない場所で痛みを伴った治療をすることが多く、恐怖心を持つ方は非常に多いです。その原因として、幼少期に治療で痛みを感じたことや押さえつけられるなどしたトラウマがあるとされます。そこで絵本を通して、幼少期から毎日の歯磨きを習慣とすることがトラウマ形成を防ぐ一番の近道であると考え、仕上げ磨きに悩む保護者をサポートする読み聞かせの活動を行っています。絵本学会で皆様から多くのことを学ばせて頂きたく思っております。ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### ●谷口文子(絵本専門士、学校司書)

この度、絵本学会に入会しました谷口文子と申します。これまで、小学校教諭・学校司書として幼稚園・小学校での読み聞かせ、ブックトーク、授業支援を通して、子供と本をつなぐ活動をしてきました。これからはさらに、絵本専門士として赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代に絵本を届けていきたいと思っています。様々な領域の方々の知見に触れながら絵本についてさらに学びを深めたい思い入会しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

### ●藤井 莉子

はじめまして。この度絵本学会に入会させていただきました藤井莉子と申します。関西大学文学部で絵本と人と出会いについて研究しています。幼少期よりたくさんの絵本に囲まれて育ったので、絵本についての学びを深めたいという思いから現在の研究に至りました。卒業論文で日本とアフリカの絵本比較や、絵本と出会いについて執筆したいと思っております。絵本学会では、研究内容に結びつけながら広く深い絵本の世界を開きたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

### ●山岸竜治(日本大学生産工学部 准教授)

やまぎし・りゅうじ、と申します。工学部所属ですが教職課程を担当する教育学専攻の者です。研究テーマは不登校で、どう治すかではなく、当事者に寄り添う研究を心がけています。私自身はひきこもりの当事者で、27歳で日本大学文理学部に入學、現在56歳です。佐々木マキ著『やっぱりおおかみ』は、ひきこもりの心象世界をよく表していると思います。佐々木さんの他は、長新太さん、和田誠さん、安西水丸さん、絵本は1冊きりですが漫画家の魚喃キリコさんなどが好きです。最近行っていないですがクレヨンハウスも好きな場所の1つ。私は、昔「朝日歌壇・俳壇」で採られたのを縁に短歌と俳句を作ります……というか、それを機に故・近藤芳美に師事したのが人の輪の中に戻るきっかけでした。〈青空のどこかにぶつけ傷付けた羽持つごとくうずくまるきみ〉——学生を見ていて時々想うことです。どうぞよろしくお願ひ致します。



## 機関誌編集委員会からのお知らせ

今年度の『絵本 BOOKEND』の発送が諸般の事情により遅れましたことをお詫びいたします。どうぞご容赦ください。

なお、都合により機関誌編集委員会を再編成することになりましたので、お知らせいたします。

2022 年度 機関誌編集委員会

編集委員長代行：藤本 朝巳

編集委員：宮崎 詞美

編集協力委員：生田 美秋

神谷 友

鈴木 律子

中山 美加

山本 美希



(イラストレーション：曾子安)

## 絵本学会 理事会議事録

2022 年度第 2 回理事会議事録

日時：2022 年 6 月 11 日(土) 10:00～ 於：オンライン

出席：藤本朝巳(会長) 丸尾美保(会長代理)

佐々木由美子(事務局長) 鈴木穂波

長野麻子 馬見塚昭久 宮崎詞美 山本美希

欠席：甲木善久、水島尚喜

記録：(佐々木) \*次回、馬見塚。以後、五十音順で担当

議事次第

前回 2021 年度第 1 回絵本学会理事会議事録および第 1 回・第 2 回メール審議議事録の確認

第 1 回絵本学会理事会議事録およびメール審議議事録は、一部修正の上、承認された。

### ◆ 報告事項

#### 1. 第 25 回大会の最終確認

馬見塚大会実行委員長より、資料をもとに大会の流れが説明された。また、2 日目のラウンドテーブルが当初予定より短い 70 分で行われることになったこと、そのため、閉会式の時間も早まり、15:45 から開始されることが確認された。各セッション、それぞれ時間厳守で進めていくことが確認された。今回参加申込者は 211 名となったことが共有された。

#### 2. 各委員会報告

##### ・研究委員会

研究委員会の鈴木委員長より、今年度の絵本研究会でご講演くださる新潟星稜大学の眞壁伍郎先生より、「絵本の世界を旅する」と題した 5 回連続講座の案内があった旨が報告された。また、6 月から応募を開始した研究助成について、現在のところまだ応募がない旨が報告された。総会時に再度、研究助成について案内することになった。

##### ・機関誌編集委員会

機関誌編集委員長代行の藤本会長より、機関誌編集委員のメンバーおよび内容について固まってきた旨が報告され、大会後に執筆依頼等に動き出す予定であることが共有された。

#### 3. 事務局より

・佐々木事務局長より、川勝・杉浦両氏による、会計監査が無事に終了したことが報告された。監事から、各委員会の収支報告の中で、領収書の不備や決算額と領収書が合わないなどの点を指摘されたことが共有された。今後、各委員会の収支報告においても不備がないよう気をつけていく旨が確認された。

・次回発送物の毎日学術フォーラム必着日は、8/1(月) とすることが確認された。

#### 4. その他

特になし

#### ◆ 審議事項

##### 1. 入退会者について

以下の2名の退会が承認された。

三宅興子 2022年3月末退会

上野直子 2023年3月末退会

絵本学会事務局(毎日学術フォーラム)に、はがきや封書で届いた退会届けについては、受理の連絡がされていないこと、また学会本部への報告が2ヶ月後に届くことなどが共有され、退会希望者に失礼のないよう、本部として対応していく旨が共有された。また、今後、名誉会員の制度を検討していくことが確認された。

##### 2. 総会にむけて

資料に基づき、総会の式次第が確認された。また、総会議長候補として、丸尾理事、鈴木理事、書記候補として長野理事になった。

総会の進め方については、質問については挙手マーク、承認には拍手マークをだしてもらうこととし、答えにくい質問については、後日、NEWS等で回答することが確認された。

事前の申し込みフォームでは、67名が出席 委任状提出が58名であることが、馬見塚大会実行委員長から報告された。

##### 3. 2023年度第26回絵本学会大会について

鈴木理事より、資料に基づき、大26回絵本学会大会は、2023年6月17-18日、大阪大谷大学志学台キャンパス(富田林市)において、対面での実施を予定していることと、実行委員のメンバーについてご説明があった。

#### 4. その他

特になし。

次回の予定

2022年9月を予定

---

#### 2022年度理事会 第3回メール審議議事録

日時:2022年7月1日(金) 発信

回答:藤本朝巳(会長) 丸尾美保(会長代理)

佐々木由美子(事務局長) 甲木善久

鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜

宮崎詞美 山本美希

#### ◆ 審議事項

##### 1. 後援依頼について

以下の主催団体より後援名義使用の申請があり、絵本学会として後援することが承認された。

◇新潟市新津美術館ほか国内5美術館

「ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉(仮題)」

会期:2022.11.12-2023.11.5

##### 2. 新入会員および退会について

以下の新入会者(敬称略)が承認された。

入会者:正会員 阿部眞弓 今野美紀 斉田ルカ

岸田邦加 山岸竜治 谷口文子

準会員 a 清家弘子

退会者:岡崎有里(2023.3.31をもって退会)

---

#### 2022年度理事会 第4回メール審議議事録

日時:2022年7月10日(日) 発信

回答:藤本朝巳(会長) 丸尾美保(会長代理)

佐々木由美子(事務局長)

鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜

宮崎詞美 山本美希

#### ◆ 審議事項

##### 1. 2022年度絵本学会研究助成審査結果について

鈴木研究委員会委員長より、2022年度研究助成審査の結果、5件中3件が採用されたことが報告され、承認された。

---

#### 2022年度理事会 第5回メール審議議事録

日時:2022年7月20日(水) 発信

回答:藤本朝巳(会長) 丸尾美保(会長代理)

佐々木由美子(事務局長)

鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜

宮崎詞美 山本美希

#### ◆ 審議事項

##### 1. 後援依頼について

以下の主催団体より後援名義使用の申請があり、絵本学会として後援することが承認された。

◇ちひろ美術館

「くらし、えがく。ちひろのアトリエ(仮題)」

会期:2022.10.8-2023.1.15

---

#### 2022年度理事会 第6回メール審議議事録

日時:2022年8月1日(月) 発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）  
佐々木由美子（事務局長）  
鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜  
宮崎詞美 山本美希

#### ◆審議事項

##### 1. 新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。  
入会者：正会員 藤井淳子 小笠原智子

##### 2. 後援依頼について

以下の主催団体より後援名義使用の申請があり、絵本学会として後援することが承認された。

##### ◇安曇野ちひろ美術館

「谷内こうた展 - 風のゆくえ」  
会期：2022.9.10-2022.12.4

---

#### 2022 年度理事会 第 7 回メール審議議事録

日時：2022 年 8 月 11 日（木）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長）  
鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜  
宮崎詞美 山本美希

#### ◆審議事項

##### 1. 後援依頼について

以下の主催団体より後援名義使用の申請があり、絵本学会として後援することが承認された。

##### ◇軽井沢絵本の森美術館

「2022 年秋冬展 アーサー・ラッカムと「ギフト・ブック」の時代」  
会期 2022 年 10 月 14 日（金）～ 2023 年 1 月 9 日（月）

---

#### 2022 年度理事会 第 8 回メール審議議事録

日時：2022 年 9 月 4 日（日）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長）  
鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜  
宮崎詞美 山本美希

#### ◆審議事項

##### 1. 新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。  
入会者：正会員 石森恵美 伊藤美和子 吉田裕行 生駒英法  
準会員 a 藤井莉子

## 事務局からのお願い

会員情報の変更と退会手続きに関する事務局からのお願いです。昨年度から事務局業務の一部を外部委託しております。業務委託先と絵本学会本部間で、情報の行き違いや見落とし等がないよう、細心の注意は払っておりますが、確実に期すためにも会員情報等にご変更等がある方は、以下の方法で、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。なお、例年、会費振込用紙に、会員情報の変更等を書き込まれる方がいらっしゃいます。業務委託した関係上、変更が伝わらない可能性が高くなります。学会からの郵送物が届かない事態も起こり得ますので、以下の方法でご連絡くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

##### 1. 会員情報の変更

ご住所、ご所属等、会員情報に変更等がある場合には、絵本学会 HP (<https://ehongakkai.com/about/member.html>) の「会員情報の変更等」をひらき、所定の書式にご記入の上、絵本学会事務局 ([maf-ehongakkai@mynavi.jp](mailto:maf-ehongakkai@mynavi.jp)) もしくは、絵本学会本部 ([office@ehongakkai.com](mailto:office@ehongakkai.com)) にメール添付でお送りください。

##### 2. 退会をお考えの方

退会を希望する方は、今年度内（2022.3月末）までに、「退会届」に必要な事項を記入し、学会事務局 ([maf-ehongakkai@mynavi.jp](mailto:maf-ehongakkai@mynavi.jp)) までメール添付、もしくは郵送でご連絡ください。

退会届も、学会 HP の「会員情報の変更等」の頁にございます。当該年度の 3 月末までは会員ですので、絵本学会関連の催しに参加することが可能ですし、郵送物等もお送りさせていただきます。新年度に入ってから退会のお申し出は、新年度の会費が発生する場合がございますので、ご注意ください。

なお、退会は退会希望年度までの会費を納入している必要があります。会費が 2 年間未納の場合は除籍となり、除籍者として理事会にて報告のうえ、学会 NEWS で公表されますこと、ご承知おきください。



## 編集後記

絵本学会 NEWS 74 号をお届けいたします。新しいメンバーでスタートした 70 号以来、紙面は一般的なワープロソフトを使って作成してまいりましたが、微妙なレイアウト調整ができず、不自由な思いをしておりました。今回、最終的なレイアウトをプロの方にお願ひできることになりました。読みやすくなった紙面をお楽しみいただけましたら幸いです。

(馬見塚昭久)

毎号「新入会員自己紹介」のコーナーを楽しみにしています。絵本学会 NEWS から、様々な分野の方々との新しい出会いが始まることにワクワクします。入会してから少し時間が経ってしまったけれど、やはり自己紹介を…という方もぜひ原稿をお寄せください。

今号もご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(宮崎詞美)

学園祭シーズン真っ盛り。入学式もできずコロナ禍の影響を一番被った大学 3 年生が、見たこともない学園祭を手探りで準備し、徐々に、身体を動かして物を造り手に取る喜びに、目覚めていく姿を間近に見ております。デジタル版に移行する学会が多い中で、紙媒体でお届けできることの喜びを感じながら、NEWS74 号をお届けしております。これもご協力くださる皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

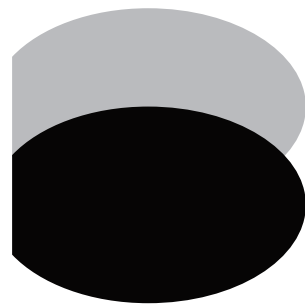
(松本由美)

「3 年ぶり」という言葉をよく耳にします。コロナ禍で中止になっていた催しが開かれたのでしょうか。懐かしい気持ちで、もしくは新たな思いで、開かれたのでしょうか。NEWS はお陰さまで決まった時期に発行されております。皆さまのご協力に感謝いたします。

(尹恵貞)

MEMO

MEMO



絵本学会